



平成 23 年 5 月 13 日

各 位

会 社 名 藤田観光株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 末澤 和政  
 (コード：9722、東・大第一部)  
 問合せ先 取締役管理本部副本部長 藁科 卓也  
 (TEL. 03-5981-7723)

### 業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 23 年 2 月 14 日に公表いたしました業績予想および配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 1. 業績予想の修正について

(金額の単位：百万円)

平成 23 年 12 月期 第 2 四半期連結累計期間(平成 23 年 1 月 1 日～平成 23 年 6 月 30 日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結当期純利益	1 株当たり 連結当期純利益
前回発表予想 (A)	30,700	100	△100	△800	△6 円 88 銭
今回修正予想 (B)	25,000	△2,600	△2,800	△2,000	△16 円 97 銭
増減額 (B-A)	△5,700	△2,700	△2,700	△1,200	
増減率 ( % )	△18.6	—	—	—	
(参考) 前期連結実績 (平成 22 年 12 月期 第 2 四半期連結累計期間)	30,520	△5	△128	△405	△3 円 49 銭

平成 23 年 12 月期 通期連結業績(平成 23 年 1 月 1 日～平成 23 年 12 月 31 日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結当期純利益	1 株当たり 連結当期純利益
前回発表予想 (A)	64,500	2,500	2,100	600	5 円 16 銭
今回修正予想 (B)	55,000	300	0	△3,500	△29 円 47 銭
増減額 (B-A)	△9,500	△2,200	△2,100	△4,100	
増減率 ( % )	△14.7	△88.0	—	—	
(参考) 前期連結実績 (平成 22 年 12 月期)	64,249	2,140	1,828	227	1 円 96 銭

#### 修正の理由

東日本大震災から 2 ヶ月が経過し、婚礼の予約や個人のレストラン利用等、一部の事業では明るさを取り戻しつつあります。一方で、宴会部門は法人需要の回復が緩やか、また宿泊部門も外国人や団体の利用を中心に低調が続いており、原発事故や夏場の節電への対応等を含め、今後も不透明な状況が続かざるを得ないと考えております。

当社としては、こうした状況認識に立って、前年比大幅な減収になると想定し、減収後の売上規模に見合った費用構造とするべく、抜本的に事業体質を見直し、同時に費用を引き下げてまいります。

具体的には、減収に応じた人件費の削減、節電を含む水道光熱費の削減、施設賃借料の見直し等全面的な費用削減により、本年度中におよそ 50 億円の効果を見込み、年度での経常利益段階での収支均衡を目指します。

更に、本年 9 月に発表を予定している中期経営計画の重要課題の一つとしていた事業構造改革の一部を前倒して実施し、特別損失の計上を 40 億円程度見込みます。

これらの結果、平成 23 年 1 2 月期の業績は、本年 2 月 14 日の公表値を修正し、売上 550 億円、営業利益 3 億円、経常利益 0 (ゼロ)、当期損失 35 億円を見込みます。

以上の施策の効果により、事業体質を強固なものとして、次年度以降は着実に安定的な利益を計上できる体質といたします。

## 2. 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期末	合計
前 回 予 想	—	0 円 00 銭	—	5 円 00 銭	5 円 00 銭
今 回 修 正 予 想	—	0 円 00 銭	—	—	—
当 期 実 績	—		—		
前 期 実 績 (平成 22 年 12 月期)	—	0 円 00 銭	—	5 円 00 銭	5 円 00 銭

### 修正の理由

「1. 業績予想の修正について」記載の状況を鑑み、期末配当につきましては、現時点では未定とさせていただきます。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予測数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上